## 連合福島スポット情報



650 号 2019 年 4 月 9 日 発行 福島市仲間町 4-8 連合福島 組織広報局

## 連合福島国際女性デーフォーラム

3月9日(土)

## 押し付けられたジェンダー規範は生きずらきそのもの

## ~女性の活躍には男性の家庭参画が必要~



130名が集い開催された「国際女性 デーフォーラム」

連合福島2019春季闘争「連合福島国際女性デーフォーラム」は連合福島青年女性委員会主催で、3月9日(土)に福島市の「ラコパふくしま」において、全県の構成組織と各地区連合から130名が集い開催された。

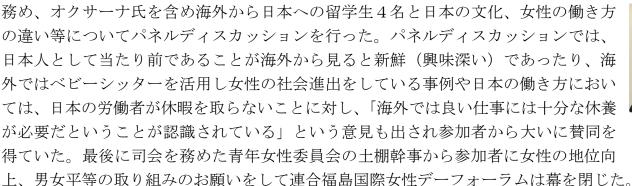
主催者を代表し大越代表幹事より「国際女性デーは歴史的に女性が差別から立ち上がった日である。

女性の差別は解消されつつあるが、未だジェンダーに基づく規範は根強く残っている、 特に育児・家事においては顕著であり、男性の参画をお願いしたい」と参加者に呼び かけた。



クリッシュ・オクサーナさん

さらに、連合福島の今野会長より「日本の男性の家事に費やす時間は海外の半分、育児休業等により女性のキャリアップがはかれていない。女性の地位向上を始め社会の不条理を労働組合として解消をして頂きたい」と連帯の挨拶を受けた。続いて講演では、ウクライナからの筑波大学に留学をしているクリッシュ・オクサーナ氏から「ウクライナからみた日本の魅力・女性活躍について」と題し講演を頂いた。また、講演後には連合福島の八巻由美執行委員がコーディネーターを





主催者挨拶·大越香代 子委員会代表幹事



連帯の挨拶・今野泰 連合福島会長



司会を務めた、土棚絢 委員会幹事



コーディネーター を務めた連合福島 八巻由美執行委員







左から、参加者の皆さん、講演会の様子、パネラーの皆さん